



源機構)はこのほど、茨城県神栖市内の神栖国家石油ガス備蓄基地で2019年度の放出訓練を行った。

同訓練はJOGMECが主催。神栖基地の探業会社である鹿島液化ガス共同備蓄が実施主体となって行った。

緊急時を想定し、国が備蓄するLPGガス石油を隣接する探業会社の低温タンクへ放出する

は、運転員などの役割分担を明確化するため同訓練はJOGMECが主催。神栖基地の探業会社である鹿島液化ガス共同備蓄が実施主体となって行った。

備蓄基地の概要▽2005年12月に基地完成。操業開始。2006年7月第一船入港・本格備蓄開始。2009年3月約20万トンのLPGガス備蓄完了。2011年4月 東日本大震災時に国からの指示を受け、約4万トンの国備LPGガスを放出した。

用品などにも使用する場合がある。LPGガスを含む高圧ガスに関係する職場の勤務者を対象に、実際に体感したことや保安について常に心がけていることをキャッチコピーにして応募する。採用作品に対しては賞状のほか会長賞10万

で行うほか、ポスターに採用される会長賞の作品には表彰者を高圧ガス保安協会全国大会(10月23日に都内で開催予定)に招待し、表彰式で賞状などを授与する。詳細はKHKウェブサイトのトップページ「公募」を参照。

シエンタLPGタクシー

都内本格導入へ

内燃工が総会

LPG内燃機関工業会(中村正人会長)は12日、千葉県で2020年度の定時総会を開催した。

冒頭あいさつした中村会長は年に1度の機会を生かし「今後、内工会がどのような方針をとっていくか、しっかりと審議をお願いしたい」と要望。続いて2019年度と2020年度の事業報告・計画、収支・予算をそれぞれ審議し全会一致で承認を得た。今年度も推進項目として共通キ

工務理事が国税局の「自動車用石油ガス容器」(金色ステッカ)、「容器所有者・再検査期限など確認表示シール」(銀色ステッカ)などを充填時に確認できないケースがあるため「会員企業はそれのような製品づくりを行っていないと思うが再確認してほしい」と

改造時、シール視認性を考慮するようあらためて要望した。また促進協が昨年改定した「LPGガス自動車構造取扱基準および解説」を紹介、購入を呼びかけた。

研修ではトヨタ・シエンタハイブリッドおよびガソリン車のタクシー向けLPGバイフューエル車について、エフ・ケイメカニックス(本社大分市)の末宗睦郎営業部長が解説した。車両価格とLPG架装費を合計してもジャパンタクシーとくらべて100万円近く廉価(ハイブリッドの場合)であるため、ハイブリッド・ガソリン両仕様併せてこれまでタクシー会社9社の導入実績がある。大分2社、福岡3社、熊本・愛媛各1社のほか、東京と神奈川

でも導入されている。当日は大分から移送した実車も展示された。東京では日の丸交通が昨年1台導入(エフ・ケイメカニックスのシテムを用いて栄自動車架装を手がける)。好評のため今後順次導入が進み、計100台ほどが見込まれるとの見通しも関係者から伝えられた。

「アクティブプラン」には、管理者による設備情報の更新機能や入居者へのプッシュ通知配信機能などを搭載したことから、設備の取り替えにもなる取扱説明書の差し替えや設備情報管理、入居者への各種お知らせなどの業務を効率化できる。

経営ビジョンにおいて、お客さま・地域社会・ビジネスパートナーなどとともに価値をつくり出す「価値共創」のエコシステム構築」を掲げており、今後ともデータサービスコンテンツの活用を通じて、お客さまや地域社会に貢献する価値やサービス

の提供を続けていく方針。



エフ・ケイメカニックス架装シエンタ

アプリで住設機器の説明書閲覧 東カスが賃貸分譲向け供給

東京ガスは、2018年12月から分譲マンション事業主向けに提供しているスマートフォンアプリ「ウェブサービス」(トリセツホーム)に「アクティブプラン」を新設し、賃貸住宅事業主および分譲戸建住宅事業主への提供を開始する。

同サービスは住宅引渡時に入居者へ渡す住宅設備の取扱説明書一式を、スマートフォンアプリやウェブで提供するサービス。同サービスの導入により入居者は設備に関する困りごとが発生し

た際、取扱説明書を手軽に閲覧できるように、書類の保管スペースも削減できるなど、利便性が高まる。住宅事業主はペーパーレス化で全住戸分の紙の取扱説明書一式を準備する業務負担が軽減される。賃貸住宅では入居者の入退去にもなる取扱説明書の紛失・破損といったトラブル防止につながる。また管理者アカウン

を推進し、綿貫正美内

速水事務局長の講演

速水事務局長の講演

速水事務局長の講演

速水事務局長の講演

速水事務局長の講演

速水事務局長の講演

速水事務局長の講演

速水事務局長の講演